

□ 施設整備委員会

2022 年 10 月に施設整備委員会を設置し、2024 年度の施設整備委員会は計 6 回開催しました。施設整備事業の予算計画審議、西館再開発計画としての新施設の整備計画と既存施設の利用計画審議、事業計画、事業予算、工事計画などの策定と事業実施に向けた各部門の構想、要望、課題の整理を行い、施設整備委員会での審議を経て、法人本部会議への附議を行いました。

100 周年記念事業としての西館再開発事業については、自己財源での整備を採用することを決定し、新施設の機能構成を決定し、新施設への移転後の既存施設の再配置計画による病院機能強化を目指した計画の立案を行い、法人の意志決定を行いました。その後、新施設の具体的な設計内容の検討のために、専門部会と分科会を設け、より具体的な内容を検討し、基本設計書の策定を行っています。また、新施設の棟名称は「予防医学棟」に、健康管理センターの新組織名称については、「予防医学・健康推進センター（新施設への移転後の稼働のタイミングで名称変更する）」に決定しています。一方、建設費の異常な高騰に対応しながら施設整備の品質を確保するために、設計コンサルタントの選定は技術提案評価型のプロポーザル方式を採用しました。今後の工事施工者の選定については、E C I 方式を採用し、施設整備委員会他での審議を経て、事業の推進を実施しています。

本館再生改修事業としては、「本館屋上緑化工事」「本館 1 階救急部拡張その他工事」「本館病棟シャワー更新工事」「コンビニエンスストア拡充整備」などを立案しました。また、西館解体に伴い必要となる「設置義務駐輪場の設置対応工事」「仮移転のための工事」などを計画しました。各事業の実施については、事業の必要性・緊急性の審議を経ることとなります。また、設備・電気・保全関係の主な項目を整理し、吸収式冷温水機の整備の延期、コ・ジェネシシステムの更新に伴い非常用発電機へ切り替えること等も検討し、財務バランスと必要性・緊急性を考慮して審議・計画を行い、病棟階改修とインフラ設備改修を両輪として、診療環境の向上と安全安心な施設インフラの更新・補修を実施していく検討を行っています。

□ 改修工事

・本館

- | | | | |
|-------|-----------------------------------|-------|------------------|
| B 2 階 | 栄養部厨房改修その他工事 | B 2 階 | 職員更衣室等改修工事 |
| B 1 階 | 第 2 MR I 放射線機器更新に伴う CPU 室エアコン更新工事 | | |
| B 1 階 | 第 1 カテ室機器更新に伴う設備工事 | 2 階 | 生理検査室間仕切り設置工事 |
| 6 階 | ガラスフィルム貼（化学療法ゾーン） | 1 1 階 | 東病棟シャワー室等改修その他工事 |
| 1 4 階 | 健康管理センター 面談室 1・2 手洗器設置 | | |

・新館

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|----------------|
| B 1 階 | リニアック 2 機器導入工事 | B 1 階 | 操作室 軽量鋼製ドア新設工事 |
| 全系統 | パッケージエアコン冷媒配管保温工事・機器修繕工事 | | |

・西館

再開発計画基本設計・実施設計業務（基本設計中）・地歴調査・敷地土壌汚染調査

□ 更新修理保全

・本館

防災設備更新工事	直流電源装置 蓄電池他更新工事
空調機整備（2023年度）工事（7台）	屋上 冷却塔更新工事(CT-051・053)
蒸気発生器更新（HEX-186）	送風機整備（52台）
上水ポンプ(PCW-511, 512)制御盤整備	スクリーチャー推奨整備
非常用燃料濾過作業	医療ガス設備吸引ポンプ更新工事
非常発電機整備(盤内推奨部品更新)	地下3階 温水2次ポンプ（PH-112）整備
屋上受変電設備 MCCB取替（5-B1系統）	地下駐車場 入出庫操作盤タッチパネル4面
立体駐車場整備 部品更新 2023年度	立体駐車場整備 部品更新 2024年度
高層用給湯膨張タンク漏水修理（プラダ交換）	3階東機械室蒸気系統減圧弁回り弁更新

（主な項目のみ列記）

□ 西館敷地活用（予防医学棟）

西館敷地の新たな活用については、予防医学・健康推進センターをメインとした「予防医学棟」の基本設計中であり、「設計コンセプト」を決定した。

1. 100年の歴史を未来へとつなぐデザイン
2. 地域に開かれ、地域に貢献する施設
3. 木質化による環境向上とSDGs貢献

新施設は、「健康・予防医学の提供施設」「病院バックアップ機能整備」を骨子とし、「地域開放や公開交流の空間とスタッフアメニティ空間」を加えた施設構成とする。地上5階建て、延床面積4,900㎡程度。

内装の木質化や、屋上および敷地周囲部の緑化などにより温かみのある施設づくりをめざし、1階には、当院の歴史や健康情報を地域に発信する「100周年記念ホール（仮称）」を設け、ギャラリー展示やセミナー開催など、市民の皆様に気軽に利用していただき、職員のリフレッシュにも活用する予定。

西館敷地の新施設への移行により、病院全体の将来構想の対応や病床再編を実現し、医療の質向上・収益改善に向けた施設整備の実施を推進する。

□ 各種委員会

施設課において所掌する院内の各種委員会は以下の通りです。

施設整備委員会／防災対策委員会／医療ガス安全管理委員会／省エネルギー推進委員会
施設課業務に密接な委員会は、以下となります。

北野BCP委員会／衛生管理委員会／医療放射線管理委員会／放射線安全管理委員会
特定放射性同位元素防護委員会／100周年リブランディングプロジェクト
DX推進委員会／苦情処理委員会

□ 建物設備管理

日常機器運転監視業務・日常巡回点検・月例点検業務・週間点検業務・不具合処理・年間保守・業者関係受付・立会業務・他緊急時対応・医療器不具合時の一次対応等を行いました。

本年度のエネルギー使用量は、総合電力使用量が、前年比、586,092kwhの増加となり、対前年比3.5%の増加となりました。新館前年比79,000kwh増加が含まれており、本館・新館ともに増加でした。

ガス使用量は、本館75,141 m³増加となり前年比4.1%の増加となりました。新館は695 m³で前年比1.6%の減となりました。7～10月の外気温の上昇が異常で、平均気温が0.5℃以上上昇し、熱帯夜も59日間と温度が下がらない日が続き、熱源機器を総稼働する状況でした。冬期は外気温・湿度ともに低く、温水・蒸気負荷が高い状態となりました。総合的に、使用量削減が困難な一年であったと考えます。

(ガス使用量対前年比：ボイラー使用量86,393 m³増・吸収式冷温水機259,342 m³増)

原油換算量では、対前年比で217.9k^油・約3.7%増加しました。

水道総使用量は、5,821 m³増加しておりますが(前年比104.0%)、井水汲上量が前年比124.21%であった為、市水使用量の増加が抑制されました。

支出額については、2022年初めからの原油価格高騰に比例したエネルギー単価高騰の影響は残っており、対前年比で、ガス129.5%増加となり、電気・ガス合算の対前々年比では107.7%となり、厳しい状況は継続中です。

(ガス単価 激変緩和対策事業支援あり (2022年2月～23年9月30円/m³・2023年10月～24年5月15円/m³))

□ エネルギー使用量

電力量(kWh)	2022年度	2023年度	2024年度	対前年比	対前々年比
本館+新館	16,591,171	16,523,501	17,109,593	103.55%	103.12%
本館のみ	14,417,671	14,415,701	14,922,793	103.52%	103.50%

ガス(m ³)	2022年度	2023年度	2024年度	対前年比	対前々年比
本館	1,871,505	1,815,691	1,890,832	104.14%	101.03%
新館	689	706	695	98.44%	100.87%
計	1,872,194	1,816,397	1,891,527	104.14%	101.03%

水道使用量	2022年度	2023年度	2024年度	対前年比	対前々年比
本館市水(m ³)	120,776	117,047	117,511	100.40%	97.30%
本館井水(m ³)	22,972	24,307	30,193	124.21%	131.43%
新館市水(m ³)	3,596	3,563	3,034	85.15%	84.37%
計 (m ³)	147,344	144,917	150,738	104.02%	102.30%

□ 不具合対応件数

事故・不具合対応についての総件数は2,489件であり、前年より大幅減少となりました。

今年度も省エネと機器不良の予防保全としてダウンライトのLED機器への更新を117台実施しました。蛍光灯製造中止の2027年問題もあり、今後も強固にLED化を進めていく必要があります。

衛生機器では、洗面台・トイレ等の排水詰り及び配管・パッキンの取替が多く、給排水設備は竣工以来の各部品の劣化によるものが多いと考えられます。今後も各機器の不具合発生前に異常を改善できるよう、計画的な予防保全を実施していくことを考えています。

電話設備の総対応件数は300件と前年度より16件減少（前年比5.1%の減）となりました。内容については、PHS電話の新規登録や不具合対応が全体の89%と多く、固定電話・コードレス電話・FAXの不具合が11%でした。

病室作業としては、コンセントやアンテナの不具合が多くその殆どが床頭台・ベッド移動の際の接触が原因としてあげられます。また、ナースコール呼出ボタンやタッチパネル・ベッドコントローラー・フットスイッチ・呼出マイクなどの不具合件数については大きな増減はありません。

□ 「不具合対応件数」

項目		2022年度	2023年度	2024年度	
給排水関係	洗面台詰り	ラバーカップ使用	40	41	58
		排水管クリーナー使用	112	120	137
		カンツール使用	7	12	6
		バキューム使用	1	3	2
		配管分解清掃(整備含む)	15	7	8
	大便器詰り	ラバーカップ使用	134	148	115
		カンツール使用	2	2	5
		便器取外し	2	1	2
	給排水設備対応	部品取替等	263	284	225
	ウォシュレット	不具合対応	33	47	21
電話関係	PHS 新規設定 ※	100	112	110	
	PHS 不具合取替対応	92	97	85	
	PHS 不具合対応	49	67	73	
	固定電話 不良取替対応	27	19	17	
	固定電話 不具合対応	22	21	15	
NC 設備他	ナースコール・呼出ボタン	28	29	20	
	ベッドコントローラー取替	11	13	7	
	フットスイッチ取替	33	27	17	
	呼出マイク	7	5	6	
他設備対応	病室風向調整	106	66	90	
	病室温度設定変更	47	34	46	
	電気工事(軽)	509	351	401	
	空調機スプレー管清掃	1	0	2	
	空調機中性能フィルター取替	3	16	5	
	建具・防犯カメラ・整線	182	154	133	
	Vベルト取替	件数	32	38	30
		本数 ※	71	86	61
	管球取替	件数	1177	1070	963
		本数 ※	2473	2104	1777
合計件数	(※ 新規設定・本数除く)	2935	2672	2489	

□ 総 括

予防医学棟新築整備に向けて、諸官庁、設計事務所、院内関係者との調整を進めています。建設費が高騰し続けている状況を鑑み、必要機能を損なわずフロア構成と建物階数、延べ面積を縮小する変更計画を行い、基本設計書の取りまとめを行っています。

改修整備事業の主要な取り組みとして、本館栄養部厨房改善工事を実施しました。2023年9月より栄養部厨房改善計画検討WGを立ち上げ、以下の3点を改善すべく検討しました。

- ・衛生区分明確化（清潔・準清潔・不潔エリアが不明確）
- ・厨房設備老朽化（内装、建築設備、厨房機器の老朽化による給食提供への悪影響）
- ・厨房運用方針（作業の効率化と新しい食事加熱方式の導入）

清潔・準清潔・不潔エリアを明確にする為、壁と建具で区画し、床は色分けを行いました。盛付エリアは専用室とし、中温用専用エアコンを配備することで、低温環境を維持できる設計としました。機器の老朽化対策としては、故障の際、給食提供に影響が高い機器を優先的に更新し、運用面の骨子である食事加熱方式は加熱時間が短い「マイクロ波式再加熱方式」を採用しました。

改修工事は現在の厨房を稼働させながら実施する方針とした為、「大規模工事を夜間に実施し、翌朝の厨房業務に支障を来さないこと」や「クリーンゾーンへの埃の持ち込み及び工事エリアから発生する解体材搬出や埃の拡散を防ぐこと」など、特殊な条件を真摯に実行していくことが必須となりましたが、それらを実現する為に、技術的事項・工事の進行順序を綿密に計画し、2024年4月から11月の期間、夜間工事にて実施し無事完成しました（一部、昼間工事、延作業員1955人（請負者の管理者人員除く））。設計図書は外注せず、課内で作成しました。

本館大型設備機器更新については、予防保全対策として更新着手して2年目となりましたが、以下の理由から次年度に延期しました。老朽化が特に著しい「蒸気発生器」「屋上冷却塔」「送風機」「立体駐車場(小規模)」の整備を優先して実施、また、防災盤も老朽化が顕著になった為、防災設備盤を更新、無停電電源装置設備も老朽化している為、現在、更新準備中です。本年は大型熱源設備機器更新が実施できなかった為、次年度、優先順位を決めて進めていく予定です。

防災関係は、各種BCP事業計画を策定し、院内各部署へ展開しました。現在も細部のマニュアルを作成中です。コロナ禍で滞っていた「災害対応訓練」を昨年4年ぶりに再開し、本年も250人規模で実施しました。大阪市北区と連携し、市のWEBシステムを利用して当院と情報交換を行う訓練も合同で行いました。院内被災状況報告はメール媒体で行いましたが、リアルタイムでの把握が難しく、集計に手間取る事が課題となりました。その為、現在リアルタイムで全体の状況が把握できるシステムを開発中です。また、北野BCP委員会と防災対策委員会を統合し、次年度からBCP・防災対策委員会として開始する事が決まりました。

今年度の改善推進提案としては、面会が本格的に再開し、エレベーター1階フロアの混雑問題を緩和すべく、エレベーターが地下1階から上がる際、特定時間内1階フロアで強制停止するようプログラム改善し、一定の効果が得られました。また、エレベーター表示灯の視認性の改善を課内スタッフで検討し、制作・設置した結果、院内の改善事例案件で最優秀賞を受賞しました。今後も可能な限り外注せず、課内で実施できる取り組みを増やして行く方針です。

次年度は、予防医学棟新築の基本設計・実施設計・請負者選定がメイン業務となり、西館解体に向けて、現在西館で執務している方の移転先の確保と事前準備の為の整備も実施します。本館で老朽化してきた建築・設備機器の整備も併せて行ってまいります。

【 業務記録 】

□ 諸官庁届出関連

省エネルギー定期報告書・中長期計画書 近畿経済産業局・文部科学省・近畿厚生局
エネルギー消費統計調査 経済産業省
大阪府温暖化防止条例実績報告書 大阪府
大阪府温暖化防止条例対策計画書 大阪府
地下水採取量報告書 大阪府

・ 大阪市提出

建築物設備定期検査報告書 建築物定期調査報告書
防火設備定期検査報告書 水質検査計画策定報告
昇降機定期検査報告書（エレベーター2社・エスカレーター）
第一種管理化学物質排出量届出書 化学物質管理目標決定及び達成状況届出書
産業廃棄物管理票交付等状況報告書 特別管理産業廃棄物処理計画書
特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

・ 大阪市（北消防署）

防火設備定期検査報告書 防火対象物点検結果報告書
防災管理点検結果報告書

・ 検査対応

大阪市北消防署 2024年8月20日
大阪市環境局（ばい煙） 報告書提出
大阪市建設局下水道河川部（特定施設） 2025年2月4日

□ 定期点検

車椅子点検整備	92台	車椅子エア一点検	28台
空調機フィルター	232枚	ファンコイルフィルター	4711枚
給排気口ガラリ清掃	977箇所	F O Aフィルター取替	93枚

カテ室アルコール清掃 医療ガス保守点検 第一種圧力容器検査受検立会
植栽作業 フィルム回収 廃材廃液回収 小型器具類取付 ナースコール設備保守点検

□ 日常業務

建具他 修理・交換 総数 214 件

ハンドル修理	22 件	ドア修理	2 件	シャワー室ドア	22 件
スライド扉修理	84 件	フランス落とし修理	17 件	トイレドア修理	6 件
コイン錠修理	2 件	窓修理	5 件	把手修理	10 件
サムターン修理	5 件	箱錠修理	8 件	電気錠修理	2 件
ドアコーザー修理	5 件	鍵穴メンテナンス	12 件	ボタン錠修理	3 件
丸座	2 件	手摺修理	4 件	手摺キャップ修理	3 件

備品修理・取付 総数 214 件

カーテンレール	6 件	カーテンランナー	69 件	感染ラック	11 件
ペーパーホルダー	17 件	消毒ホルダー取付	4 件	掛時計	15 件
家具修理	25 件	ロッカー鍵修理	17 件	鏡	3 件
ホワイトボード	12 件	シャワーフック	3 件	タオル掛修理	15 件
額縁・絵画	7 件	ブラインド・ローカーテン	2 件	コップホルダー	1 件
便座クリーナー	4 件	トイレ音姫	2 件	自転車修理	1 件

医療関連備品修理・交換 総数 164 件

ベッド修理	3 件	車椅子修理	74 件
歩行器・三輪車・四輪車	3 件	点滴支柱台修理	30 件
ストレッチャー修理	3 件	ワゴン修理	23 件
体重計修理	7 件	身長計修理	4 件
浴室用車椅子修理	1 件	注射台修理	2 件
救急・配膳カート修理	6 件	血圧計修理	2 件
オーバーテーブル	1 件	シャウカステン	1 件
アウトレットバルブ	2 件	メディペールスタンド	2 件

その他 171 件

ラック棚板変更	4 件	看護マット貸出回収	1 件
合鍵作成	13 本	切文字作成貼付	9 件
ポスターテプラ表示	8 件	窓フィルム貼付	3 件
壁補修・クロス補修	12 件	コーナーガード取付	8 件
物品搬出・搬入	47 件	レイアウト変更	9 件
冷凍庫霜取	5 件	腰壁見切材補修	4 件
タイルカーペット貼替	3 件	机・椅子 修理	10 件
床シート補修	2 件	配線整線	4 件
購入備品組立	23 件	天井材張替	1 件
ストレッチャーガード	4 件	ワタナース寸法切	3 件

イベント装飾品製作（世界糖尿病デー・世界腎臓デー・クリスマス等）
 外来共用廊下 手すり撤去面化粧シート貼り付け補修
 エレベーター（1～4号機）昇降ランプ表示方法更新
 病棟共用シャワーフック点検是正（SUS板追加にて補強他）
 監視カメラ取付（交通量調査、躯体漏水調査 他）
 板材加工（看板、敷板、補修、造作等） 家具類転倒防止対策
 塗装作業（ワゴン、架台、装飾品など） 放射線シールドテーブル改造
 壁付施工（モニター・扇風機・固定電話など）
 安全キャビネット撤去・丸ダクト封設 カルテ庫書架照明器具撤去
 外来婦人科内診 床材交換 排煙口交換 側溝グレイチング交換
 デイルーム流し台排水蓋交換 展開台・分娩台キャスター交換
 医局書架組立 会議室大型モニター設置 アイソレーション盤化粧板補修
 床頭台加工にて錠前取付 カテ室吊り戸棚調整 きたのホール有孔ボード取付
 西館 保管品整理 及び 預かり品、返却

除草作業・高木灌水 東西玄関・車道・スロープ溝清掃 FCU漏水対応
 COVID-19対応（陰圧テント設置・撤去）
 予防 保全 対応（扉 シャワーフック 手摺 他）

- ・ 適正計量管理検査 12回/年
 デジタル血圧計 173台 水銀血圧計 3台 マノメーター血圧計 2台
 質量計 190台（電気抵抗式120台・ばね式22台 ヘルスメーター48台）
- ・ 芯温計校正 1回/年 計8台
- ・ 大型機器院内搬送 2134台
 シュレッダー類搬送 706箱
 廃液回収 380缶 廃電池回収 704kg バッテリー 50kg
 水銀屑 13kg ホルマリン吸着剤 12kg
 シュレッダー処理 1694袋 重量 51,520kg（エンボスシュレッダー8回/9袋）
- ・ 研修会場設営・回収 205件
- ・ 大型ポスター 合計418枚
 布印刷117枚 紙印刷238枚 和紙印刷1枚 光沢紙印刷49枚
 合成紙印刷13枚 総長 577m
 医師学会用ポスター、各部署より依頼のもの
 院内部署移動による案内地図・案内掲示物 作成